

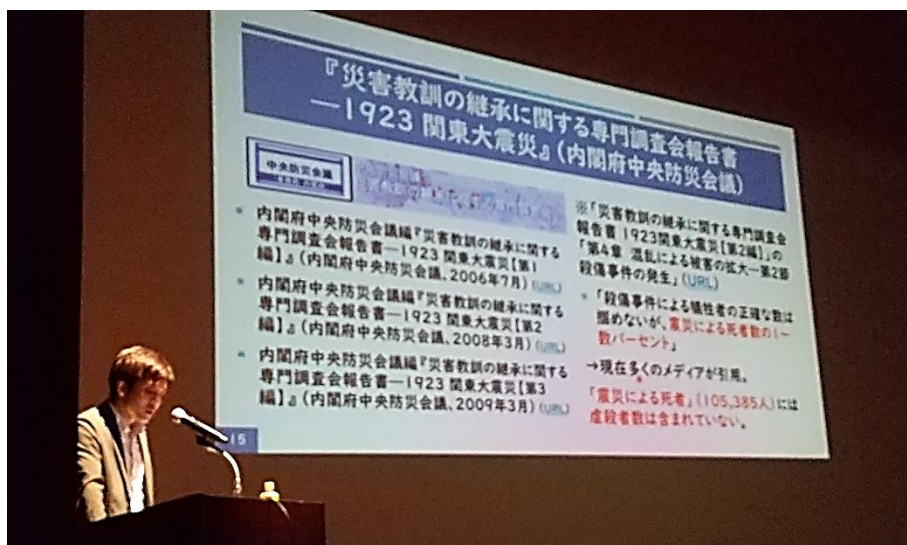
☆2023 年 9 月 21 日

「関東大震災と朝鮮人」

講師：西村 直登 先生（同志社大学人文科学研究所嘱託研究員）

場所：なるお文化ホール

出席人数：220 名



講座のご評価：

「本日の講座はお客様が期待するようなものでしたか。」という問いに

①「あてはまる」146 名(70%)、②「どちらかといえばあてはまる」54 名(26%)、

③「どちらかといえばあてはまらない」7 名(3%)、④「あてはまらない」3 名

(1%)、評価記入なしが 10 名でした。

いつになく、感想欄に書き込まれたお客様のコメントが多かったです。それら

の中では、講座から考えさせられたさまざまな想いを語っていただいた方も大

勢いらっしゃいました。

肯定的なご評価としては「熱意あふれる講座だった」「知らなかった内容を詳しく、分りやすく解説してくれた」「こうした内容の講座を続けて、ぜひ次世代に引き継いで欲しい」といったご意見がありました。

否定的なご評価は少なかったのですが、「声が大きすぎて聞きづらかった」「早口で聞き取れないところがあった」「スクリーンに投影された内容とレジュメの内容が一致しておらず、分りにくいところがあった」などがありました。

#### | | |--------| | 講座の概要： | |--------|

100 年前の関東大震災の災害の大きさの解説から始まって、デマを信じて罪の無い朝鮮人を 6 千人以上も虐殺した経緯や背景を詳しく解説していきました。

現在の中学校の教科書ではこの虐殺をあまり取り上げていないこと、韓国を植民地としていた頃の日本政府や日本人の朝鮮人への差別意識のあり方、「朝鮮人が攻めてくる」といった流言飛語をたやすく信じてしまった民衆の暴挙、また政府や警察も虐殺に加担したこと、後年も政府は虐殺を「なかったこと」にしようとして隠蔽工作を行ったこと、中国人や日本人も大勢の方が虐殺の犠牲となったこと、等々を詳細に解説してくださりました。

講座の最後には「質問タイム」も設けて、あらかじめご提出いただいた質問に西村先生は丁寧にご回答いただきました。

お客様のご感想紹介：

○「差別を完全になくすことは難しいとしても、差別を許さない社会を目指すことは可能」この言葉に心が震えました。中学校の一教師として、ぜひ早速子どもたちにも伝えていきたい言葉でした。ありがとうございました。

○今年はメディアでも関東大震災 100 年という事で、様々な考え方に触れることは多くありましたが、どんなにつらい過去であろうと、客観的な事実を曲げることは良くないと思っていました。

私たち一人一人が「歴史から学ぶ」という姿勢で物事を見て、自分で考える習慣をつけたいと思いました。ありがとうございました。

○今回初めて、本当に朝鮮人を多く殺していた事実を知りました。

韓国人の友人が日本人を責めていた時があって、それが（今回）事実だと知って、次会ったときどう話せばいいか、と悩みます。

日本でも、教育の中できっちり伝えていくべきだと思いました。

先生ありがとうございました！